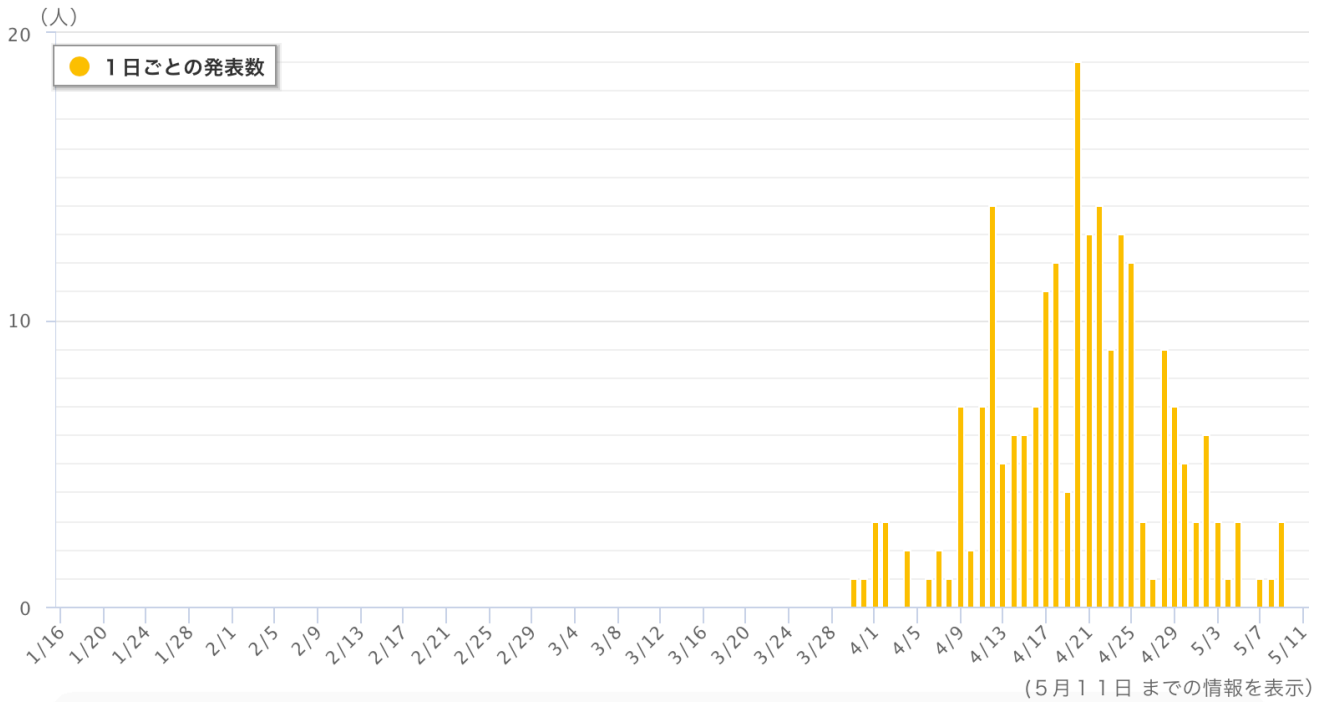


# 新型コロナウイルス感染症について

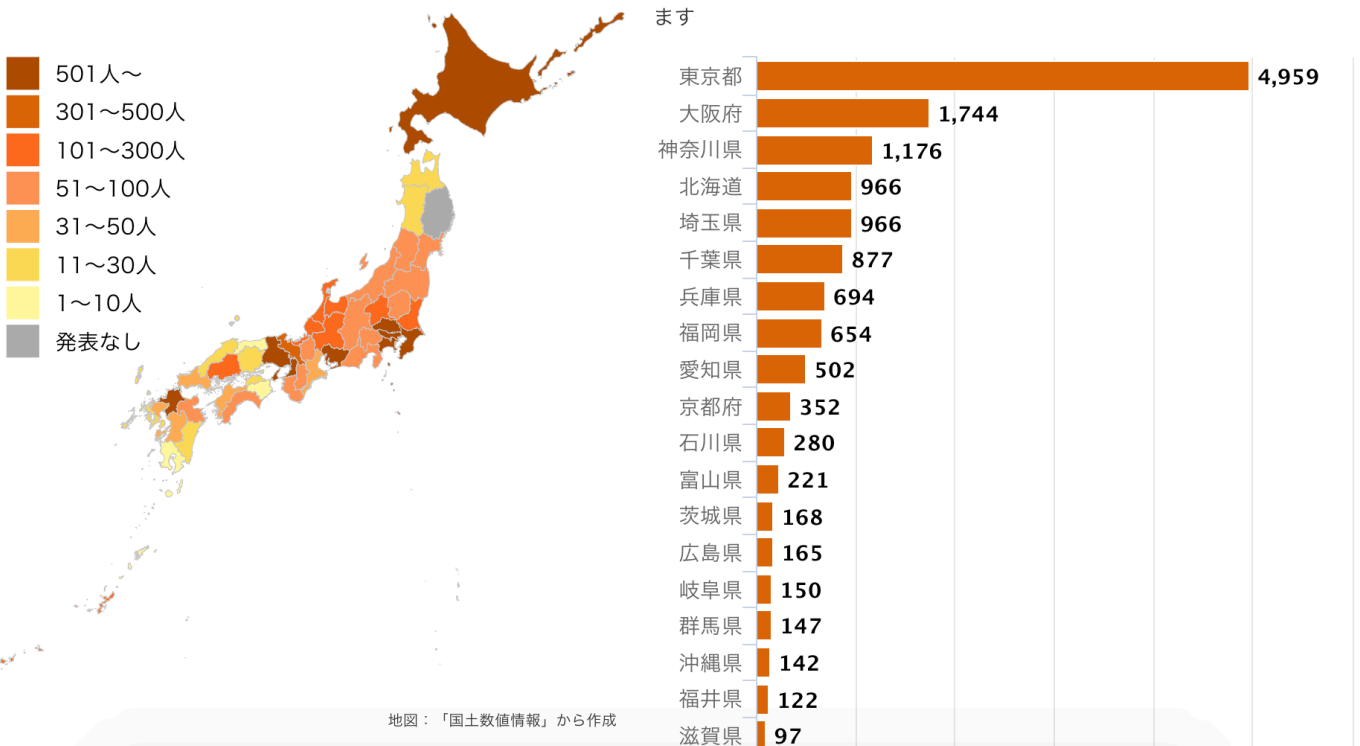
富山県 ▼

● 1日ごとの発表数 ○ 累計



## 都道府県別の感染者数（累計・NHKまとめ）

下のグラフや数字をクリック・タップするとその都道府県の推移を見られます



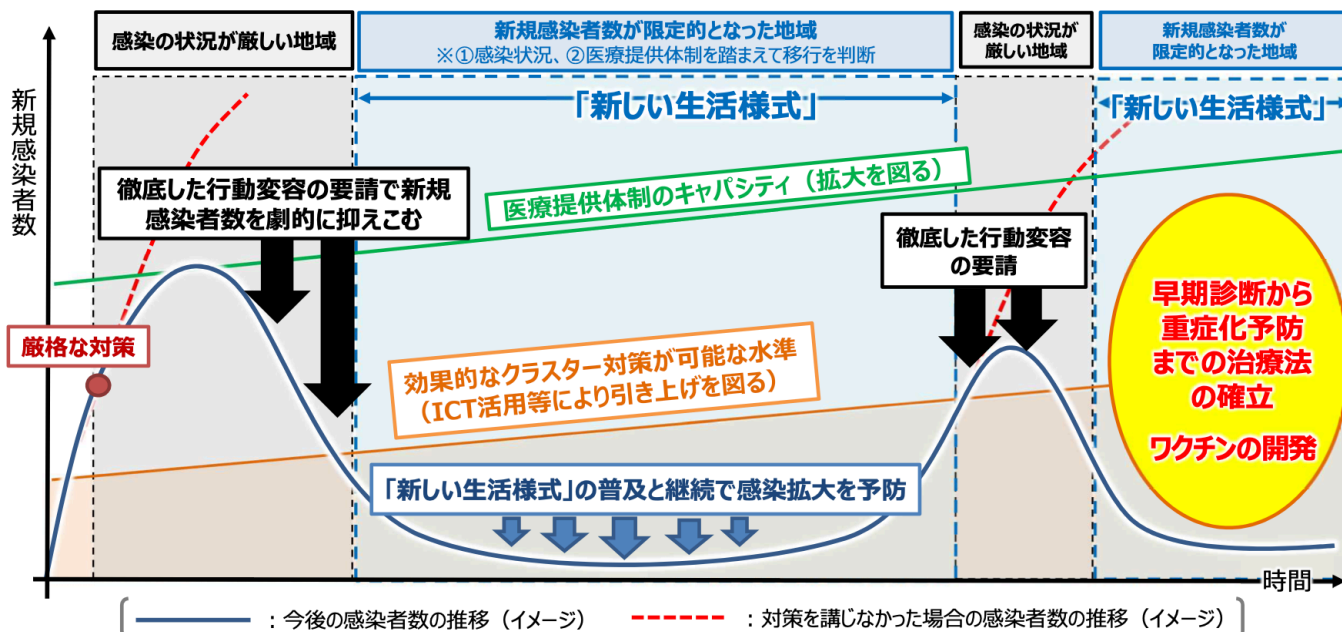
【図3 累積感染者数等のデータ】

都道府県	累積感染者数	1週間以内 累積感染者数	2週間以内 累積感染者数	3週間以内 累積感染者数	人口10万対 発生数 (累積)	人口10万対 死亡数 (累積)
北海道	823	222	416	569	15.7	0.8
青森	26	4	4	4	2.1	0.0
岩手	0	0	0	0	0.0	0.0
宮城	88	3	5	43	3.8	0.0
秋田	16	0	0	3	1.7	0.0
山形	68	2	8	32	6.3	0.0
福島	75	7	15	38	4.1	0.0
茨城	165	7	30	72	5.8	0.3
栃木	54	2	11	24	2.8	0.0
群馬	146	6	26	69	7.5	0.8
埼玉	878	93	264	525	12.0	0.5
千葉	823	45	180	412	13.2	0.5
東京	4491	641	1503	2579	32.3	1.0
神奈川	1060	118	307	549	11.5	0.4
新潟	77	12	21	36	3.5	0.0
富山	209	36	120	188	20.0	0.9
石川	260	36	87	156	22.9	1.1
福井	122	2	16	36	15.9	1.0
山梨	55	3	6	25	6.8	0.0
長野	69	3	24	43	3.4	0.0
岐阜	150	1	10	56	7.6	0.3
静岡	73	11	23	35	2.0	0.0
愛知	491	15	92	167	6.5	0.5
三重	45	0	10	28	2.5	0.1

## 新型コロナウイルス感染症対策の今後の見通し（イメージ）

参考1

- 緊急事態宣言による行動変容の要請は、感染拡大を防ぎ、**医療提供体制の崩壊を未然に防止**することを目的としている。他方、対策を一気に緩めれば、感染が再燃し、医療崩壊・重症者増大のおそれ。
- このため、今後、①早期診断及び治療法の確立により重症化予防の目途が立つか、②効果的なワクチンができるまで、**まん延防止を第一としつつ、社会経済活動との両立を図っていく必要がある。**
- 感染が一定範囲に抑えられており、医療提供体制が確保された地域については、対策の強度を一定程度緩め、**感染拡大を予防する「新しい生活様式」へと移行し、効率的なクラスター対策により、新規感染者数の発生を一定以下にコントロールしていく。**並行して、医療提供体制のキャパシティを上げながら、再度、まん延が生じた場合は、「徹底した行動変容の要請」を講じる。



# 新型コロナウイルス感染症対策の今後の方針

## 行動変容

- 新規感染者数が限定的となった地域は、再流行への対応体制を整えた上で、「徹底した行動変容の要請」を緩和し、「新しい生活様式」の普及・継続を図る。その上で、**再度、まん延が生じた場合は、「徹底した行動変容の要請」を講じる。**

【「徹底した行動変容の要請」を講じる場合でも以下を検討】

- 学校について、リスクを低減した上で、活動を再開し、学習の機会を保障していくことも重要。文科省において、有識者の意見も聴取した上で、感染リスクが高い活動や場面を整理し、その対応について早急に示すべき。
- 公園の扱いについても検討していく必要。

- 「新しい生活様式」では、以下のようなことが求められる。
  - 3密の回避、身体的距離の確保、基本的な感染防御策（マスクの着用、手指衛生等）
  - 各事業者が感染対策を講じる際の基本的考え方を次回専門家会議で示す予定。それを踏まえ、各業界団体を中心に、業種別のガイドラインの策定について検討される必要。

「新しい生活様式」  
に切り替え

## クラスター対策

- クラスター対策が効率的に実施できるよう、以下に取り組む。
  - 保健所支援の徹底
  - ICT活用によるコンタクトトレーシングの早期実現

クラスター対策  
の能力向上

## 医療体制

- 医療崩壊を防ぐために、以下を実施。
  - 医療機関ごとの機能分担、調整本部・協議会の設置、宿泊療養施設等の確保等の体制整備
  - 他の疾患の患者の治療への支障に留意しつつ、急激な感染者数増に対応できる体制整備
  - 都道府県毎の医療提供体制の整備状況の見える化
  - PCR等検査の実施体制の拡充

キャパシティ  
拡大

## 治療法等

- 一刻も早く、治療法・治療薬・ワクチン重症化を開発するよう努めることが求められる。
- 迅速診断キットの開発等による早期診断や治療法の開発により、重症化予防が期待される。

期間短縮

## 軽症者療養施設

- ・ オークスカナルパークホテル 約100室
- ・ 看護師2名常駐、事務2名常駐
- ・ 医師はオンコール  
(朝9時、夕方5時、翌朝9時に電話連絡あり)
- ・ 退所のためのPCRは月・水・金に施行

症状増悪時には退院してきた病院へ救急搬送  
これまでに32名入所、25名退所(5/11現在)

# 富山医療圏PCRセンター

- ・ 富山市医師会、滑川市医師会、中新川郡医師会による共同設置・運営
- ・ 5月19日開始予定
- ・ 富山市民病院東側敷地内に車ごと通れる大型テント設置
- ・ 検査はBML

## 第1波を振り返り、今後必要と思われること

- ①介護老人保健施設内感染対策  
「持ち込み防止」「施設内発生を想定した対応」
- ②精神科並びに障害児者医療の問題
- ③無症状の中に新型コロナ陽性者に対する対策  
手術や分娩への対応  
特に妊婦のPCR